

医政改発 1014 第 1 号
医政医発 1014 第 1 号
医政産企発 1014 第 1 号
医薬安発 1014 第 1 号
令和 8 年 10 月 14 日

各 $\left[\begin{array}{l} \text{都 道 府 県} \\ \text{保健所設置市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right]$ 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局医療経営改革課長
（ 公 印 省 略 ）
厚生労働省医政局医事課長
（ 公 印 省 略 ）
厚生労働省医政局医薬産業振興企画課長
（ 公 印 省 略 ）
厚生労働省医薬局医薬安全対策課長
（ 公 印 省 略 ）

「G L P-1 受容体作動薬及びG I P/G L P-1 受容体作動薬の適正使用について」
の再周知について

2型糖尿病治療薬や肥満症治療薬として製造販売承認されているG L P-1 受容体作動薬及びG I P/G L P-1 受容体作動薬（以下「G L P-1 受容体作動薬等」という。）の適正使用については、別添 1 の「G L P-1 受容体作動薬及びG I P/G L P-1 受容体作動薬の適正使用について」（令和 8 年 6 月 16 日付け医薬安発 0616 第 16 号医政総発 0616 第 1 号医政産情企発 0616 第 1 号厚生労働省医薬局医薬安全対策課長・厚生労働省医政局総務課長・厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課長連名通知。以下「通知」という。）において、その適正使用や広告の禁止事項等について周知をしたところです。

今般、令和 8 年 10 月 3 日付で、一般社団法人日本肥満学会より、別添 2 のとおり「安全な減量に関するステートメントーインクレチン関連薬を用いた減量によるケトosis関連事象の注意喚起ー」が周知されました。また、G L P-1 受容体作動薬等については、これらの薬剤との因果関係は不明であるものの、製造販売承認された効能・効果（「2型糖尿病」、「肥満症」等の治療目的）以外の美容や痩身を目的に使用された場合においてケトosis関連事象に係る副作用報告を受けているところです。これらを踏まえ改めて、通知及び日本肥満学会のステートメントの趣旨を御了知の上、貴管内の医療機関等への周知をお願いいたします。